

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710  
WEEKLY BULLTIN 竹原ロータリークラブ週報



会長 夜船 正昭  
会長エレクト 久藤 孝仁  
副会長 菅 義尚  
幹事 佐々木 秀明  
副幹事 中川 康子  
会計 田中 幸俊  
S A A 下山 生修

副S A A 小坂 啓子  
直前会長 木村 安伸  
管理運営 大成 義彦  
会員組織 土居 敏昭  
奉仕 朝比奈 勝也  
広報 宮本 和彦  
R財団米山 大森 寛

四つのテスト

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

事務局 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1 おおぎビル102号  
TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651

Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp HP:www5.ocn.ne.jp/~rc-take

例会場 大広苑 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 TEL 0846-22-2970

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 発行：クラブ広報委員会

本日のプログラム 12月4日	次回のプログラム 12月6日
誕生祝・各会員各記念日祝 誕生日該当者会員卓話	忘年家族例会

【 2014年11月27日 第2455回例会記録 】

□ソング：我等の生業

各会員各記念日 (12月)

- 会員誕生日 藤中 保 久藤 孝仁  
下山 生修 堀越 賢二  
板場 英行
- 結婚記念日 藤中 保 土居 敏昭
- 事業所創立 田中 幸俊 尾野 剛章

スマイルボックス

□特別スマイル

- ・50周年記念式典で家内が特別功労表彰を頂きました。有難うございました。(円山啓壮)
- ・創立50周年式典が皆様のご協力により無事終わることが出来ました。有難うございました。(夜船正昭)
- ・在籍30年以上表彰をして頂いて有難うございました。(菅 義尚)
- ・創立50周年記念の主行事が終了し、当クラブの半世紀に及ぶ歴史に一区切りがつけました。皆様の長期にわたる御尽力に感謝致します。(本庄純夫)
- ・在籍30年以上表彰して頂きました。(佐渡文武)
- ・健康と家内円満に感謝、永年表彰を頂き有難うございました。(金澤節生)
- ・歴代会長で表彰されました。有難うございました。25日だけの子ゴルフコンペで優勝しました。(佐々木秀明)
- ・創立50周年記念式典での司会を務めさせて頂き良い経験をさせて頂きました。有難うございます。(三好静子)

- ・50周年記念式典にて2011-12年度パスト会長としての表彰に浴し有難うございました。(下山生修)
- ・創立50周年記念式典で30年の表彰を頂きました。これからも頑張っつて続けたいと思います。(市川重雄)
- ・50周年での表彰有難うございました。(荒谷隆文)
- ・パストガバナー補佐表彰有難うございました。(本庄純夫)

クライングボックス

- ・当クラブ創立50周年記念行事の為、御来訪されて御逝去された姉妹クラブ羅東扶輪社社員陳正雄様のご冥福を心からお祈り致します。(本庄純夫)
- ・例会名札を持ち帰り、持参するのを忘れました。(夜船正昭)

幹事報告

幹事 佐々木 秀明

- ・第7期R L I -2710分科会パート1ご案内  
ガバナー 金子克也

日時 平成26年12月23日(火)

場所 広島国際会議場

会長の時間

会長 夜船 正昭

皆さんこんにちは。本日は第2455回の例会であります。去る11月15日、当クラブの創立50周年記念式典が挙行されました。秋の絶好の天気にも恵まれ、本庄実行委員長はじめ事項委員会役員の皆さんや会員全員のご協力によりつつがなく式典を行えま

したことに心より御礼申し上げます。  
50周年を成功させようという目的で心一つにして協力をして下さった会員の皆様のお蔭です。大勢の方々の祝福を受け、記念式典、祝賀会を成功裡に終えることができました。有難うございました。  
また50周年記念事業として竹原市、東広島市に演台、花台、司会台、そして米山記念奨学会に寄贈致しました。皆様方のご協力のお蔭で50周年に相応しい記念事業となったのではないかと考えております。この50周年を契機としてさらなる発展に向けて頑張っていきたいと思います。

この式典前日に羅東クラブの前会長陳正雄氏の訃報に接しました。深くご冥福をお祈りいたします。  
次に、11月24日(月)開催されました聖恵文化祭には多数の会員様にご参加頂きました。ご苦勞様でした。久藤会長エレクトの奥様、御子息、そして事務局の重友さん誠に有難うございました。また佐藤会員より飲み物のご提供を頂きました。厚くお礼申し上げます。  
さて、本日は年次総会を開催します。次年度理事役員に関する選挙を付議しますので宜しくお願い致します。これで会長の時間を終わります。

## 年次総会

クラブ細則第五条会合第一節、年次総会は毎年11月の最終例会日に開催するものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員及び理事の選挙を行わなければならないとあります。これより、役員理事の指名を指名委員会委員長木村かpasto会長よりお願い致します。  
夜船会長から指名委員会木村委員長へ次年度理事役員の指名の報告を求め、木村指名委員長より次のとおり報告が行われ承認されました。

### <2015-16年度理事役員>

会 長	久 藤 孝 仁
幹 事	三 好 静 子
副 会 長	鴨 宮 弘 宜
会長エレクト	菅 義 尚
直 前 会 長	夜 船 正 昭
理 事	大 森 寛 幸
	佐 藤 守 幸
	土 居 敏 昭
	荒 谷 隆 文
	堀 越 賢 二
会 計	田 中 幸 俊

## 委員会報告

□次年度幹事 三好静子  
例会終了後、この場所で次年度理事会を開催しますので理事の方はお残り下さい。よろしくご依頼致します。  
□創立50周年記念誌委員会 委員長 久藤 孝仁  
創立50周年記念誌の編纂作業が残っています。歴代

会長の回想録の原稿をお早めにご提出をお願いします。次週より、記念誌掲載用の会員写真を撮影したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

□親睦委員会 委員長 吉本きよ子  
12月6日(土)忘年家族例会を行います。本日締切りですが、まだ沢山席がありますので出来るだけたくさん出席してくださいませようご依頼致します。

## G9ロータリー財団勉強会報告



会長エレクト 久藤 孝仁  
G9ロータリー財団勉強会が11月22日(土)広島エアポートホテルに於いて、R財団伊賀委員長、小田委員、三吉委員出席のもと開催されました。

竹原RCより市川次年度ガバナー補佐、夜船会長、久藤エレクト、宮本会員が出席しました。(出席者23名)『ロータリー財団とは何か』ロータリー財団とは、寄付金を受領し、これを各クラブ及び各地区が実行する人道的・教育的活動のために配分する非営利法人である。1917年にアーチ・C・克蘭PRI会長の提案により「世界でよいことをするため」基金の設立をしたが、なかなか寄付金が集まらない中、1947年ポールハリス死後、多くの基金が集まり、1983年国際ロータリーとは別個独立の「米国歳入法501条C項3号の法人格を取得し、当時約\$739からスタートした。また、その法人格の恩恵には所得税の免除、寄付控除の免税待遇を付与されている。

ロータリー財団の目的と使命「ロータリー財団法人設法定款」(2013年手続要覧P231)本法人は、慈善的かつ教育的目的、または1954年国内歳入法第501項(c)(3)《通称charity団体資格の取得》もしくは以後の連邦租税法の管領規定に定められ、かつ法人会員の承認したほかの目的のためにのみ組織され常に運営される。

ロータリー財団の目的(RI定款細則22条、手続要覧P197)22.010 RIのロータリー財団は、財団の法人設法定款および細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的、教育的目的の為のみ運営するものとする。法人設法定款と細則は、管理委員会が理事会の同意を得て改正できるが、その他の方法はない。ロータリー財団の使命(手続要覧P62)ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。と言うところから始まり、皆さんに資料をお渡ししていますロータリー財団のシェアシステムの説明がありました。参加RC広島空港、尾道、三原、因島、竹原、尾道東からの説明に対する意見交換を行いました。

- ・夢計画の使用しやすい状況を作り出していかなければならない
- ・財団への寄付は、グローバルな弱者へ、補助金を使用する。よって日本国内での弱者への使用に

は、各クラブ内のリサーチをしっかりと必要な所へ使用する。しかし、GDP世界3位の日本は、人道支援の急迫性があり救済が手遅れとなるような場合は、ほぼ無いのではないかと。したがって、実施国ではなく、支援国の色合いが強いのでは。

- ・グローバルな視野を通してプロジェクトを行い、また、行う事によって人格形成の発展の場にして欲しい。
- ・国内で使用できる人道支援の例を示してほしい。
- ・エボラ出血熱等大きな問題のグローバルな援助を行ってはどうか。
- ・グローバル補助金使用にしても、世界のニーズや状況を把握出来ないのでは、財団から状況を知らせてもらえないか、また申請するにしても通訳等、使用国との親密なコミュニケーションが出来にくいので単一クラブでは難しい。

(各クラブでネットワークを発展させて、グローバルなリサーチをお願いします。)

等々の意見交換がありました。しかし、補助金は『財団の目的と使命』にしか使用できないので、使命と目的をしっかりと受け止めて申請していただきたいとの結果に至ったように思いました。2014 - 15年度の地区補助金の状況、グローバル補助金の状況を資料にて提示していただき、これらをも踏まえて、補助金申請のためのタイムスケジュール資料も合わせ、早めの計画をお願いするのとまとめました。各会員にこれらの趣旨を理解していただき財団への協力をお願いいたします。

## 会 員 卓 話

米山記念奨学会委員長 本庄 純夫



先般は創立50周年行事ついて皆様のご協力に感謝致します。

さて、本日は米山奨学会についてご紹介させていただきます。先ほど財団の説明がありました

りましたが日本にはロータリー財団と米山記念奨学会の二つの寄付団体があります。

10月の米山月間にロータリー米山豆辞典が配られていますので最新の資料はこれを参考にして頂きたいと思います。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。1967年に財団法人として設立許可され2012年に公益法人制度改革に伴い「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」へ移行しました。2014年4月現在、累計奨学生は126カ国、18,104名を支援し、米山奨学生の採用数は、年間700人。奨学団体としては、事業規模・採

用数とも、日本国内では民間最大です。

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解 (3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となり、米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めると共に、ロータリーの奉仕の心を学びます。奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなり、カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。米山記念奨学会には普通寄付と特別寄付がありません。

寄付の増進を叫ばれていますので皆様のご協力をお願いします。

会員 金澤 節生



去る11月15日我がクラブの50周年記念式典が滞りなく無事終了しました事は同慶の至りでございます。

そこで本日11月27日発行週報NO. 15へ私の川柳を三句掲載させてもらいましたのでご紹介させていただきます。

「輝いて 五十路記念は 永久に咲く」

「空は青 奉仕の足並み 五十段」

「ありがたや 祝五十年に めぐり合う」

## 出 席 報 告

総員	出席	欠席	メイク	免除	出席率
37名	24名	6名	6名	1名	83.78%



十一月二十四日(月)聖恵文化祭ポ  
ランティアに参加しました。  
早朝より皆様大変お疲れ様でした。  
(うどん・カレーコーナー)

